

KITAKYUSHU

北九州市

アクションプラン インバウンド誘致

2024

2027



Inbound Invitation Action Plan

令和6年3月 北九州市

KITAKYUSHU

インバウンド誘致アクションプラン

2024 - 2027

CONTENTS

I	アクションプランの策定にあたって	P.4
II	インバウンドの現状	P.7
III	コロナ禍後のインバウンドの傾向	P.10
IV	北九州市におけるインバウンドの現状と課題	P.13
V	北九州市のポテンシャル	P.18
VI	目指す姿と戦略	P.23
VII	4つの視点と8つの方策と17のアクション	P.30
	●..... 視点1 北九州市の魅力をしっかり届ける	P.32
	●..... 視点2 観光資源を発掘し磨き上げる	P.34
	●..... 視点3 回遊性向上を図るため「線」でつなぐ	P.40
	●..... 視点4 広域で連携して「面」で売り込む	P.41

I

アクションプランの 策定にあたって

01 背景と目的

新型コロナウイルス感染症により一時的に消失したインバウンド需要は、感染症法上の位置付けが5類に移行した後、堅調に回復しています。

そのような中、国においては、「持続可能な観光」、「消費額拡大」、「地方誘客促進」をキーワードに新たな「観光立国推進基本計画」(2023(令和5)年3月・観光庁)を策定しました。この計画では、大阪・関西万博が開催される2025(令和7)年に向けて、都市部や一部の人気観光地に集中している旅行者を、地方やこれまであまり知られていなかった目的地へと誘客することで、地域経済を潤わせ、中長期的に「持続可能な観光地域づくり」を実現しようとしています。

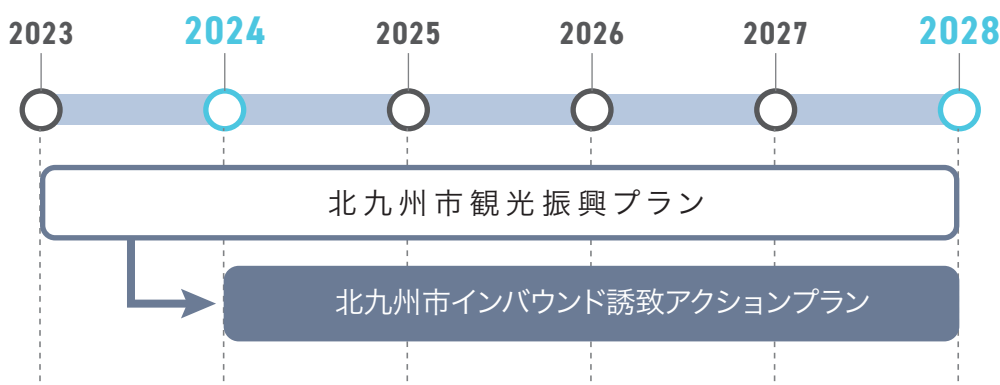
こうした中、北九州市の経済を活性化させ、「稼げるまち」を実現していくためにも、今後、拡大が期待されるインバウンド需要を戦略的に取り込むことが重要です。

北九州市は歴史・文化・自然・食など、素晴らしい観光資源を有しながら、そのポテンシャルが十分に発揮できていないと言わざるを得ません。

このような中、全国的な潮流を踏まえ、今回策定する「北九州市インバウンド誘致アクションプラン」を推進することによって、北九州市のポテンシャルを開花させ、「インバウンド観光都市」としてのプレゼンスを高めます。また、本アクションプランは、2023(令和5)年4月に策定した「北九州市観光振興プラン」のインバウンド戦略の取組を具体的に示して推進するものです。

02 取組期間

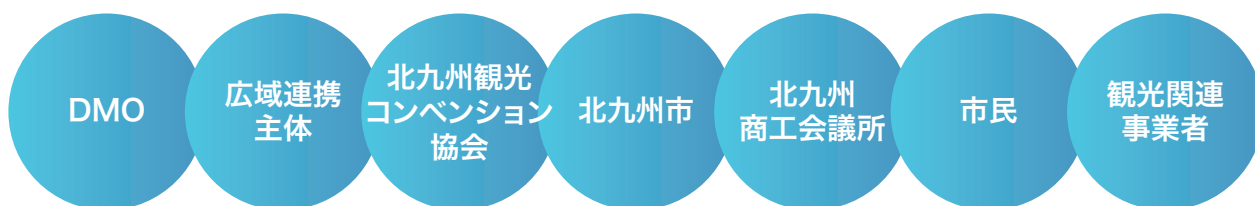
取組期間は、「北九州市観光振興プラン」に合わせ、2024(令和6)年度から2027(令和9)年度までの4年間です。



03 推進体制

本アクションプランでは、北九州市の関係部署がインバウンド誘致に向けて同じベクトルで組織横断的に推進していきます。

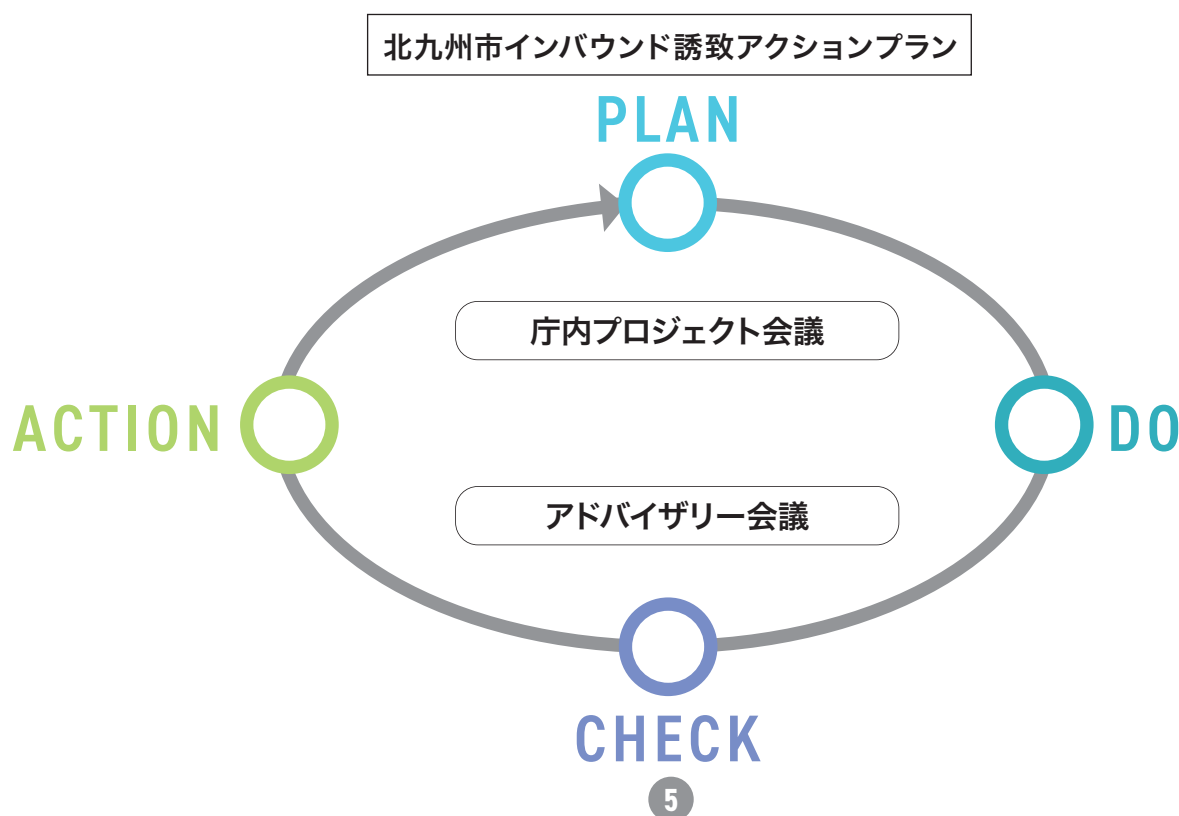
また、観光振興団体、民間事業者、市民及び北九州市などが連携することはもとより、それぞれの役割を果たしながら、まちぐるみでインバウンド観光の振興に取り組みます。



04 プランの進捗管理体制

本アクションプランは、有識者、学識経験者、外国人などの外部委員で構成するアドバイザリー会議と庁内プロジェクト会議によって、進捗管理を行っていきます。

また、社会情勢の変化や国の動向などにより、新たな対応が求められる場合は、取組期間内であっても必要に応じて見直しを検討します。



II

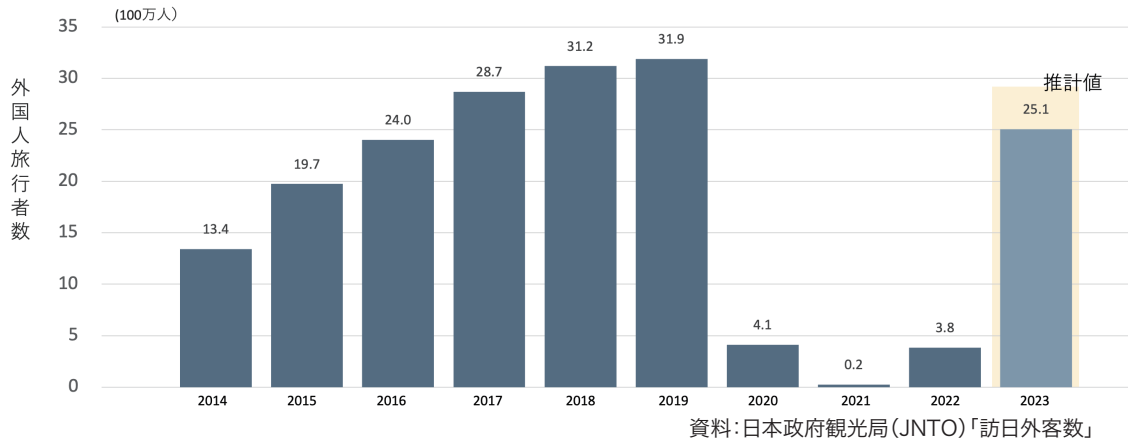
インバウンドの現状

II インバウンドの現状

1 日本を訪れた外国人旅行者数の急速な回復

日本を訪れた外国人旅行者数は、コロナ禍前の2019(令和元)年がピークの約3,190万人となっています。2020(令和2)年～2022(令和4)年に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少したものの、2023(令和5)年は約2,510万人(推計値)と急速に回復しています。

日本を訪れた外国人旅行者数の推移

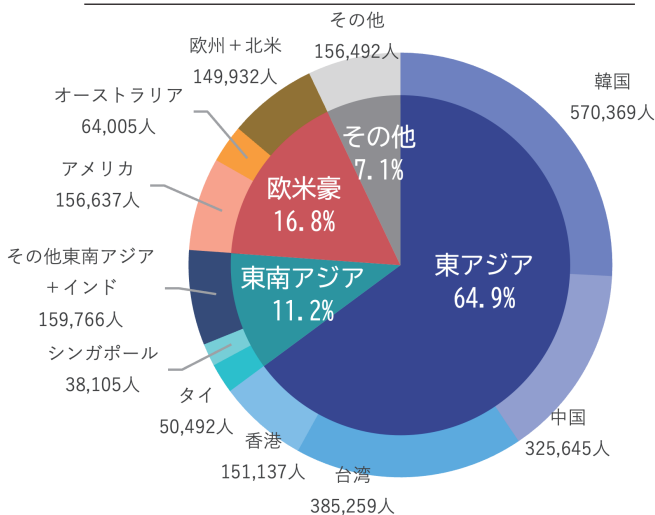


2 九州への入国者の割合はアジア圏が9割超

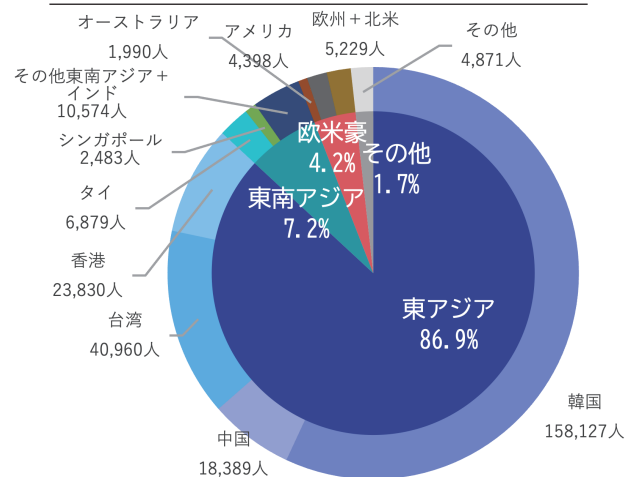
全国の2023(令和5)年9月に日本を訪れた外国人旅行者の内訳を見ると、アジア圏の比率は76.1%(東アジア64.9%、東南アジア11.2%)、欧米豪圏の比率は16.8%となっています。

一方、九州へ入国した外国人旅行者の内訳を見ると、アジア圏の比率は94.1%(東アジア86.9%、東南アジア7.2%)と全国より高くなっており、欧米豪圏の比率は4.2%と大幅に低くなっているのが特徴です。

2023(令和5)年9月の国・地域別の内訳(全国)



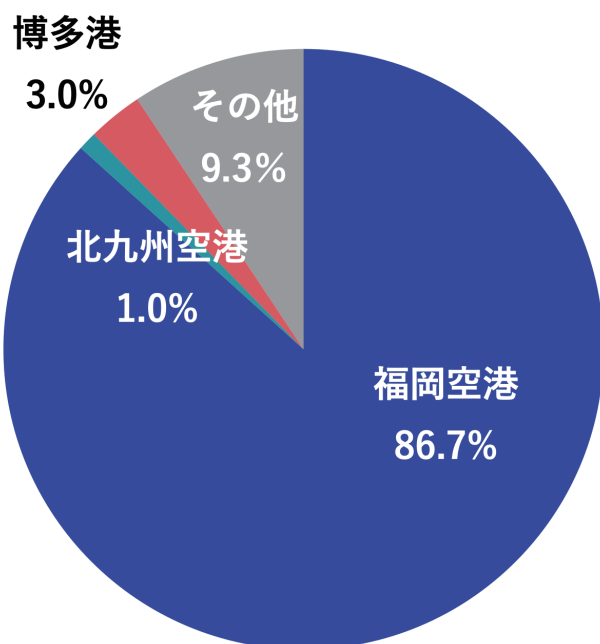
2023(令和5)年9月の国・地域別の内訳(九州)



3 九州への入国者の約9割が福岡空港から入国

九州へ入国した外国人旅行者のうち、86.7%が福岡空港から入国しています。また、博多港から入国した外国人旅行者も、北九州空港の約3倍となっています。

2023(令和5)年1月～9月の九州内の主な空港・港湾別外国人入国者数



空港・港湾名	入国者数(人)
福岡空港	1,883,803
北九州空港	21,865
博多港	64,234
佐賀空港	11,034
対馬(厳原港・比田勝港)	68,943
熊本空港	36,463
大分空港	5,993
宮崎空港	4,382
鹿児島空港	15,718
その他	60,729
合計	2,173,164

資料:国土交通省 九州運輸局

「九州内の主な空港・港湾における外国人入国者数の推移」